

飛島学写真展

飛島漂着物語

～とびしまからどんぶらこ～



浜辺に転がる漂着物は、どこから来たのでしょうか？

飛島にも、様々なものが流れ着きます。

それらは時に思いもよらない物語を紡ぎ出すことがあります。

島に流れ着いた32点の漂着物を写真で紹介します。

日時
2/21^①~3/6^②
9:00~17:00

場所
酒田市交流ひろば1階ロビー
〒998-0044 山形県酒田市中町3-4-5

主催
とびしま漁村文化研究会 
電話：090-9162-1153 / メール：tobistudy@gmail.com

～はずれのあたりにある学問～

飛島学とは

飛島の歴史は今から約6000年前に始まります。縄文時代から現在にいたるまで、飛島に暮らしてきた人々はどのような生活を営んできたのでしょうか。海や森に向き合って生きるための知恵や技術、人々が共に生きるための社会や文化とはどのようなものだったのでしょうか。人口減少社会とグローバル社会が同時に進行している現在、私たちは地域が持つ文化の普遍性や多様性にいま一度目を惹かさなければなりません。飛島学は、飛島が持つ歴史文化を未来に継承する実践的な取り組みとしてスタートしました。

同時開催！

飛島学講座「飛島漂着物語」

日時：第1回 2/28^① 第2回 3/5^②

場所：酒田市交流ひろば2階 研修室  

第1部 飛島と漂着物のおはなし 13:30-14:20

- ① 飛島の海ごみについて / 大谷明
- 内容：② 不思議の島、飛島 / 岸本誠司
- ③ とびしまむかしがたり / 小川ひかり



Speaker
岸本誠司 民俗学研究者 / とびしま漁村文化研究会 代表 / 鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会 専任研究員
1971年生まれ、兵庫県出身。近畿大学にて民俗学者野本寛一に師事し、以降全国の飛山漁村のフィールドワークを重ねる。

第2部 漂着物でアートづくり 14:30-15:30



小川ひかり
Ogawa Hikari
合同会社とびしまノ
とびしまコンシェルジュ



大谷明
Ohtani Akira
特定非営利活動法人
パートナーシップオフィス

